

# Oh!Me

インターネットと連動した【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

**滋賀ガイド!** [www.gaido.jp](http://www.gaido.jp)

vol.8・1月29日号 毎週木曜発行

4面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町289 TEL0748-34-8870

●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603

●発行/毎日新聞大阪本社販売促進部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部

## 素敵な人!

今回の素敵な人は、滋賀県立琵琶湖博物館の鳥類学主任学芸員としてカワウの生態を研究されている亀田佳代子さん(理学博士)をご紹介します。

# カワウと人がうまく共生できる道を見つけたい

## 湖と陸を行き来する鳥の役割を調べたい

「学生時代は、キジバトというハトの繁殖生態を研究していました。ここ琵琶湖博物館に研究者として就任してからは、湖と陸を行き来する鳥の役割を明らかにしたいと考え、琵琶湖に生息するカワウの生態に着目しました。水域と陸域の両方を利用して生活するカワウが琵琶湖の生態系に与える影響や役割について明らかにしたいと思っています」

## 臭い・汚い・きつい調査は3K労働

「具体的には竹生島などカワウのコロニー(集団営巣地)のある森林でフンや落葉、土などをはかり駆除したカワウを解剖して何を食べているかを調べます。鳥の研究といえば静かに観察しているように思われがちですがカワウの研究は体力勝負。コロニーではフンや吐き戻した魚が降ってきて油断すると直

撃を受けます。だから、夏にどんなに晴れていても雨合羽と長靴が必需品。ダイエットしたい方はぜひ、カワウ調査にご参加下さい(笑)」

## カワウのフンで小学校建設!?

「琵琶湖にある2つの大きなコロニー(竹生島、近江八幡市の伊崎半島)では、森が枯れたり土壌流出による影響が問題視されています。今は嫌われ者のカワウですがかつてカワウのフンは良質の肥料として重宝されていたこともありました。愛知県ではフンの売り上げで小学校を建設したとの記録も残っています。まだまだ生態などわからないことがたくさんあるカワウですが、私の研究でカワウと人がうまく共生できる道が見つかればうれしいですね」

(取材・北中)

カワウのおなかから出てきたお魚



滋賀県立琵琶湖博物館・鳥類学主任学芸員  
亀田 佳代子さん



カワウのフンで枯れた竹生島の森  
下草が生い茂り  
島の景観が大きく変化している

## カワウの目撃情報求む!

カワウの生態調査にご協力下さい。  
以下の情報をわかる範囲でお知らせ下さい。

- ①観察場所 ②観察日時
- ③輪のついている脚(右か左か)
- ④脚輪の色 脚輪の色でカワウが生まれた地域がわかります。  
青=滋賀・兵庫 緑=白=愛知  
橙=静岡 黄=関東
- ⑤観察時に見たカワウの数

連絡先/琵琶湖博物館・亀田佳代子  
[kameda@ibm.go.jp](mailto:kameda@ibm.go.jp)

## 琵琶湖博物館♪イベント情報

- 2月22日(日)まで開催中  
ギャラリー展示「楽石注意!」  
～石の愛し方・遊び方・楽しみ方～
- 3月7日(日)14:00～16:00  
博物館連続講座  
「カワウと人の過去・現在・未来」  
～カワウが運んだものの行方～  
・講師:亀田佳代子  
・対象:中学生以上  
・定員:60名程度  
・場所:琵琶湖博物館セミナー室  
・お申込み、お問い合わせは:  
滋賀県立琵琶湖博物館 交流センター  
TEL077-568-4811



滋賀県立琵琶湖博物館  
草津市下物町1091  
TEL:077-568-4811  
FAX:077-568-4850

素敵な人の投稿はこちらから  
[gaido.jp/0049](http://gaido.jp/0049)

毎日新聞のご購読申し込みは



滋賀生活情報紙[Oh!Me]はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。

**読者プレゼント**  
**こだわり米(5kg)**  
を5名様に  
官製はがきに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、近江米振興協会へお送り下さい。  
【応募締切】2月10日到着分まで

環境こだわり農産物

滋賀県認証

○農薬・化学肥料:通常の5割以下  
○びわ湖・周辺環境への負荷削減

安全安心、おいしいお米は、近江米。

**滋賀県産 近江米**

近江米振興協会  
TEL.077-523-3920 <http://www.ohmimai.jp/>  
〒520-0807 滋賀県大津市松本1丁目2番20号 滋賀県農業教育情報センター内